

2019年10月11日

各位

大日本住友製薬株式会社

LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2019」で
「ブロンズ」を受賞

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:野村 博)は、このたび、職場におけるLGBT(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーなどの性的マイノリティ)に関する取り組みを評価する「PRIDE 指標 2019」において、「ブロンズ」を受賞しましたので、お知らせします。

「PRIDE 指標」は2016年に日本初の職場におけるLGBTへの取り組みの評価指標として、任意団体「work with Pride」が策定しました。本指標はLGBTの人々が誇りをもって働ける職場の実現を目指して「PRIDE 指標」という名称で、以下の5つの評価指標によって評価します。

1. Policy (行動宣言)
2. Representation (当事者コミュニティ)
3. Inspiration (啓発活動)
4. Development (人事制度・プログラム)
5. Engagement/Empowerment (社会貢献・渉外活動)

当社は、行動宣言に、性的指向、性自認(LGBT)に関する差別的言動を行わないことを明記しています。特に近年は、役職者を含む全従業員を対象に、LGBTへの正しい知識の習得とLGBTへの理解促進を目的とした研修やセミナーを開催しています。また、多様なセクシュアリティに関する相談窓口を設置するほか、大阪本社には、LGBT対応のトイレも設置しています。

当社は、今後も、ダイバーシティ&インクルージョンに関する取り組みのひとつとして、LGBTに対する従業員の理解を深め、多様な人材が活躍し、すべての従業員が能力を最大限に発揮できる環境づくりを進めていきます。



以上